

発達障害サービス局

1215 O Street, MS 7-40
Sacramento, CA 95814
TTY: 711
(833) 421-0061



日付： 2022年7月28日

宛先： 地域センター事務局長

件名： 自己決定プログラム：初期の本人主体計画と登録前の移行支援に関するガイダンス

この通信の目的は、自己決定プログラム（SDP）のオリエンテーションを完了したSDPの参加候補者とその家族が、SDPへの登録に移行する際に利用できるサービスの概要を説明することです。登録は、地域センターが消費者のケースマネジメントの分類を、自己決定を意味する「S」に変更した日に行われます。その後、消費者はSDPに登録済みで、参加者であるとみなされます。SDPの参加候補者は、初期の本人主体計画や登録前の移行支援を受けることができます。参加者は、初期の本人主体計画や登録前の移行支援について、以下のオプションAまたはオプションBのいずれかを選択する必要があります。2023年2月1日以降は、オプションBのみが選択可能となります。

オプションA

[2019年2月13日](#)、[2019年9月3日](#)、[2020年10月30日](#)、[2021年7月15日](#)の発達障害サービス局（当局）の指令にある初期の本人主体計画および登録前の移行支援に関する現行ガイダンスを、2023年1月31日まで維持します。推定料金に関する情報は、当局のSDP[FAQ ページ](#)にある「本人主体計画」に掲載されています。

オプションB

2022年8月1日から選択可能。2023年2月1日より、初期の本人主体計画および登録前の移行支援についてはこのオプションのみが選択可能となります。そのため、2023年2月1日より、このガイダンスは[2019年2月13日](#)、[2019年9月3日](#)、[2020年10月30日](#)、[2021年7月15日](#)の当局の指令に取って代わります。

「パートナーシップを築き、選択をサポートする」

オプションBは、初期の本人主体計画を、登録前の移行支援に向けた新しいサービスと分離するものです。各地域センターは2023年2月1日までにこのサービスを提供するベンダーを特定するために地元地域のパートナーと提携し、これらの新しいベンダーを地域センターのウェブサイト上のベンダーリストに追加する予定です。オプションBには、初期の本人主体計画および登録前の移行支援に関する以下のガイダンスが適用されます。

初期の本人主体計画

SDP のオリエンテーションを完了し、SDP へと移行する消費者は、初期の本人主体計画策定を要請できます。本人主体計画は、SDP の参加候補者が自分の目標を目指して努力できるように、将来の人生像を記載するものです。これは、参加候補者の強み、能力、好み、ライフスタイル、そして文化に基づくもので、個人プログラム計画（IPP）の文書作成に使用できます。地域センターは、初期の本人主体計画について以下の者から購入し最大1,000ドルの支払いを行うことができます。

- 本人主体計画サービスの委託先プロバイダー
- 本人主体計画/促進プロセスにおけるトレーニングまたは証明を受けていることを示す、非委託先プロバイダー。非委託先プロバイダーへの支払いは、サービスコード024の「購入代金の払い戻し」として行われます。

地域センターは、登録プロセスを支援する自然なサポートの不足によって初期の本人主体計画に時間がかかる場合、希望言語が英語以外である場合、または障害の結果としてより高いレベルのサービスが必要な場合にSDPの参加候補者の支払いを個別で増やすことがあります。支払いは、地域センターがSDPの参加候補者の同意に基づく初期の本人主体計画書が交付されたことを示す請求書を受領した後のみ行うことができます。

登録前の移行支援

登録前の移行支援は、委託先サービスプロバイダーを必要としない様々な方法で提供されています。

- 地域センターのサービスコーディネーターは、個人と家族の移行を支援します。
- 地域センターは、自己決定地域ボランティア諮問委員会と協力して、地域の移行支援の特定や契約を行います。給付金に関する情報は、[2022年2月11日](#)の当局のガイダンスをご覧ください。

- 地域センターの参加者選択スペシャリストは、SDPを通じて自律を目指す個人を支援します。

追加の移行支援が必要なSDPの参加候補者は、「自律(SD)支援」(サービスコード099)と呼ばれる新しい委託サービスが利用できます。これは、一般自律(一般SD)支援と金銭管理サービス自律(FMS SD)支援に分かれています。地域センターは、合計で最大40時間までSD支援を認可することができます。SDPの参加候補者には、個別で追加時間が許可される場合があります(別紙をご参照ください)。

一般SD支援は、SDPのオリエンテーション後、SDPの参加候補者がSDPに登録される前に提供されることが許可されています。このサービスは、SDPの参加候補者とその家族または代理人がSDPへの登録を成功させるために必要な支援、コーチングやトレーニングサポートを提供するものです。これには、初期の本人主体計画策定に関する支援は含まれません。このサービスに新規の委託先プロバイダーを利用する場合、地域センターはサービスコード099を使用する必要があります。一般SD支援に関する詳細については、別紙を参照してください。

FMS SD支援は、SDPのオリエンテーション後、SDPの参加候補者がSDPに登録される前に提供されることが許可されています。これには、初期の本人主体計画策定に関する支援は含まれません。このサービスは、SDPの参加候補者にサービスを提供するFMS機関のみが提供できます。このサービスに委託先プロバイダーを利用する場合、地域センターはサービスコード099を使用する必要があります。FMS SD支援に関する詳細については、別紙を参照してください。

SDPの参加候補者がSDPに登録するために本人主体計画を持っている必要はなく、SD支援を利用する必要もありません。これらのサービスの請求は別々に識別されるものの、登録前の移行支援の実行はSDPの参加候補者にとってシームレスに感じられる必要があります。

地域センター事務局長
2022年7月28日
ページ4

参加者やその家族がこの通信について質問がある場合には、地域センターのサービスコーディネーターまでお問い合わせください。また、地域センターが質問がある場合には、sdp@dds.ca.govまでお問い合わせください。

敬具

マリクリス・エーコン
デピュティ・ディレクター
連邦プログラム・ディビジョン

別紙

cc: Regional Center Administrators (地域センター管理者)
Regional Center Directors of Consumer Services (地域センター消費者サービス
担当ディレクター)
Regional Center Community Services Directors (地域センターコミュニティサー
ビス担当ディレクター)
Association of Regional Center Agencies (地域センター機関協会)
State Council on Developmental Disabilities (発達障害に関する州カウンスル
)

ナンシー・バーグマン、DDS
ブライアン・ウィンフィールド、DDS
カーラ・カスタニェーダ、DDS
ジム・ナイト、DDS
アーニー・クルス、DDS
ティム・トラビス、DDS

サービスの定義 - 自律支援（サービスコード 099）

自律支援（SD 支援）は、消費者が自己決定プログラム（SDP）のオリエンテーションを完了した後、SDP への登録前に行われます。登録は、地域センターが消費者のケースマネジメントの分類を、自己決定を意味する「S」に変更した日に行われます。その後、消費者は SDP に登録済みで、参加者であるとみなされます。

SD 支援は、一般 SD 支援と金銭管理サービス（FMS）SD 支援の 2 種類のサポートに分かれています。それぞれのプロバイダーは、別個のベンダー資格を満たしている必要があります。どちらのサービスも、SDP の参加候補者が SDP を十分に理解できるよう、1 対 1 またはグループでの支援、コーチング、またはトレーニングを提供できます。

地域センターは、合計で最大 40 時間まで SD 支援を認可することができます。消費者と家族が登録プロセスを支援する自然なサポートを利用できない、希望言語が英語以外である、または障害の結果としてより高いレベルのサービスが必要であるなど、SDP への移行を成功させるためにより集中的なサポートを必要とする SDP 参加候補者については、個別で追加時間が許可される場合があります。SD 支援の 1 時間当たりの料金は当局で定められています。

一般 SD 支援

SDP に登録する SDP 参加候補者に対して、資格を有する一般 SD 支援提供者によって提供される以下のサービスが含まれます。例えば、以下の分野における支援、コーチングやトレーニングが含まれます。

1. 個人プログラム計画
 - a. 初期の本人主体計画を提供した個人との連携
 - b. SDP の参加候補者のニーズ、目標、SDP におけるサービスを特定するための個人プログラム計画会議での支援
2. サービスやサポートの提供方法に関する調整
 - a. 資格を持つスタッフまたはプロバイダー機関の検索と採用
 - b. スタッフの給与やプロバイダー料金の交渉
 - c. 該当する場合、スタッフの犯罪歴調査結果を取得するプロセスの理解
 - d. 誰がサービスを提供できるかに関する基本情報（資格、報酬の有無に関する規則など）
 - e. スタッフの管理方法に関する基本情報（期待水準や勤務時間の設定、勤務時間のタイムリーな提出や請求など）

- f. スタッフの新人研修やトレーニングに関するあらゆる面でのコーチング
3. 支出計画を通じた 12 ヶ月間の SDP 個人予算の管理
- a. SDP の給付金を最大限に活用するための一般的な給付金源に関する教育
 - b. 認定された 12 ヶ月予算を取得するためのプロセス/支援に関する理解、SDP 個人予算の策定方法、個人支出計画の見直し/策定に関する理解
 - c. 予算管理と月次支出の追跡に関する基本的なスキルの習得と向上
 - d. SDP 給付金の使用に関する基本的な情報（州法または連邦法および規制で要求されるものなど）
 - e. 地域センター、FMS プロバイダー、およびスタッフ間のコミュニケーションと連携確立のための支援

一般 SD 支援プロバイダーの資格：一般 SD 支援を提供しようとするベンダーは、以下の各項目に関する知識や経験を示す資格証明書を提出する必要があります：生活経験を通じた発達障害者に関する知識や 1 年間の正式な有給経験、自己決定プログラムに関するトレーニングコースの修了、SDP 要件を含むランタマン発達障害サービス法に関する知識。

金銭管理サービス SD 支援

委託先の FMS 機関が SDP に登録する SDP 参加候補者に提供する以下のサービスを含みます。例えば、以下の分野における支援、コーチングやトレーニングが含まれます。

1. 以下に関する教育やコーチング
 - a. 雇用法、残業規定、タイムシートの要件と責任、保険に関する要件
 - b. FMS が提供する月次予算報告書のレビュー、個別予算支出のレビュー責任、個別予算と支出計画の調整、およびこれらに向けた FMS のプロセスに関する要件
2. 対象となる物品とサービスの要件
 - a. 犯罪歴調査結果を得るプロセスおよび支援
 - b. 提案されたサービスが自宅およびコミュニティを拠点とするサービスの設定要件に適合していることの検証
 - c. 提案された支出の算出方法が信頼できるコストとサービス利用に基づいていることを確認するための個々の支出計画のレビューと調整に向けた支援、および必要に応じた調整

- d. 移行の成功をサポートするため、支出計画とサービス承認を電子請求システムに含めることやその他の金銭・請求に関する要件、POS プロセスや地域センターのプロセスについて地域センターと話し合うこと
3. SDP へのスムーズな移行をサポートするためのその他のトピック（必要に応じて）

FMS SD 支援プロバイダーの資格 : FMS 機関は、FMS SD 支援を提供するために地域センターから委託され、SDP 参加者のための現行の FMS ベンダーでなければならず、上記の業務を提供する能力を示す必要があります。